

男女共同参画社会を目指して

男女が性別にとらわれることなく、あらゆる分野で、その個性と能力を十分に発揮できる社会の実現を目指します。

茨城県では、11月を「男女共同参画推進月間」と定めています。期間中は、市でもさまざまな取り組みを行いました。その一部を紹介します。

11.11いいパートナーの日の集い ～いきいき人生 元氣かさま～

11月11日は「いいパートナーの日」として市の男女共同参画推進条例に定めています。この日に、家庭・地域・職場における男女のより良いパートナーシップを築くための情報を伝えていきます。今年は、市内在住の男女デュオグループ「楽々KENT州」によるコンサートや地域で男女共同参画推進の取り組みをしている団体の紹介などを楽しく行いました。



楽々KENT州のコンサート

男女共同参画に関する「絵・イラスト・ポスター」「一言メッセージ・標語」の表彰

男女共同参画推進に関するポスター・標語などを募集したところ、たくさんのご応募をいただきありがとうございました。選考の結果、下記のとおり入賞者が決定しました。表彰式は、11月25日(土)に開催した「かさま男女共同参画推進フォーラム2006」の中で行いました。

<絵・イラスト・ポスター部門>

応募総数32点

最優秀賞<敬称略>

「ふうふ」 河原井 菜々(笠間小・5年)

「笑顔で 助け合う社会」

石塚 侑子(稲田中・3年)

「クエスチョン 男女とは」

大澤 美保(友部高・2年)

その他、入選(8点)

<一言メッセージ・標語部門>

応募総数1,586点

最優秀賞<敬称略>

「目をそらさず 手をさしのべて 男女共同参画」

笹沼 英里(友部中・2年)

「あなたの力 私の力 合わせて輝く 互いの力」

富田 美里(友部高・3年)

その他、優秀賞(6点)、入選(12点)

ハーモニーフライトいばらき2006

ハーモニーフライトは、県で実施している事業で、新しい茨城づくりのために積極的に地域活動のできる国際的視野と指導力を持った女性を育成する海外派遣事業です。

「ハーモニーフライト」を終えて

川澄 知子さん(東平)

「ハーモニーフライト2006」を知ったのは、応募締切の迫る5月のある日。慌ててレポートを提出し、面接、3度の宿泊研修、2度の国内視察を終え、あっという間に10月1日。オーストラリアとニュージーランドは春。花が咲き、空気は澄んで、清々しい季節。視察先は、個人旅行ではなかなか行けない場所ばかりで、とても貴重な体験ができた。男女共同参画というのは、会社や家庭、男性や女性というものにとらわれず個人個人の特性にあった生き方を進めていくことである。とかく日本は、「男性として」「女性なんだから」そんな固定観念に縛られている人が少なくない。互いへの思いやりと、ほんの少しの勇気が社会を変え、今よりもっと生きやすい世の中をつくるのではないだろうか。そんなことを視察先や、ホームステイ先の家庭の中から感じる事ができた研修だった。この機会を私に与えてくれ、応援してくれた全ての人に感謝するとともに、この経験を活かして地域に関わっていきたいと思う。



一番左が川澄さん